

# 順心会合氣道（松阪）

合氣道のルーツは、平安時代に起こった「大東流合氣柔術」にまでさかのぼります。時を経て明治時代以降、現在の合氣道として確立されました。松阪市を拠点に活動する順心会合氣道には約100名が所属し、心の修練を主な目的として日々稽古に励んでいます。



順心会合氣道 師範  
はしもと よしたけ  
橋本 順武さん

お問い合わせ

携帯 090-9924-7111

三重県内で活躍するグループを紹介する「いま、グループネット」。今回は、松阪市の「順心会合氣道」を紹介いたします。技の習得を通して、相手に対する優しい心と、自分に打ち勝つ強い心を育む「順心会合氣道」。師範の橋本順武さんにお話を伺いました。

―合氣道は日本で生まれたものですか。―

橋本：はい、そうです。会津藩で「会津お止め技」として子孫に継承されていた時代もあったそうです。戦のなかで武器を持った相手から、素手で自分の身を守る技として修練されていたようです。明治時代になり、現代武道として今の

合氣道が確立されました。

―争うための武道ではないのですか。―

橋本：そうです。合氣道は他人と競うものではないので試合を行いません。数多くある技を繰り返し稽古していくなかで、身体を鍛え、心を育くむことを目的としています。しかし習熟度に応じた段位審査があります。

―どんな心を育んでいくのですか。―

橋本：技の性格として相手を傷つけるものではないので、互いに切磋琢磨し合つて稽古を重ねていくなかで、相手に対する思いやりや優しい心を育みます。また、困難にぶつかったときに逃げずに乗り越えるための強い心も習得していきます。そのひとつの方法として、



年に一回行われる寒稽古※

100名所属し、子どもの部と一般の部に分かれて練習しています。月曜から金曜までの夜に、毎日道場を開いているので、皆さん自分のペースに合わせて来れますよ。一般の部は中学生以上。思春期の若者が、親以外の大人と接することいろいろな学ぶ機会があります。40代以上も多く、健康のために通っている方も多いです。稽古のときはその

人の顔を見て、今日はどのぐらいの運動量がいいのかを考えながら、稽古の内容を組み立てて一人ひとり教えていきます。リラックスした状態から生み出される、しなやかな動きと強さを習得し、平常心を養うことができます。

―精神性の深いものなのですね。海外へも教えに行かれているそうですね。―  
橋本：はい。オーストラリアをメインに、台湾、韓国、ベトナムの現地の方が開いている道場へ指導に行っています。合氣道は世界中に広まっていますが、本来とは違う形で教えられていることが多いですね。それを正すのが役目だと思っています。また3年に一度、松阪市で国際友好セミナーを企画し、さまざまな国から参加者を迎えています。

橋本：はい。「気」には無限のエネルギーの意味があり、「米」は四方八方に広がる形をしています。技は、心のエネルギーを無限の方向に無限に広げる気持ちで行うものだと思います。修練

国内外問わず多くの人に、合氣道を知ってほしいと思います。

―ありがとうございました。他人と競わず、身体と心に向き合い、自分のペースで続けられる合氣道。何才からでも始められる親しみやすい武道だと感じました。―



練習に参加する皆さん



自分のペースで練習に通えるのも魅力



海外の道場で指導する橋本さん（オーストラリア）※

※ 印の写真は取材先から提供していただきました。